

当院に診断・治療のため入院された患者さんの手術材料
(食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、肺、腎臓、乳腺、子宮、
胎盤)・病理組織診断結果を用いた
医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 慶應義塾大学病院 病理診断科

職名 職員 氏名 大城 真里

連絡先電話番号 03-5363-3843

実務責任者 所属 慶應義塾大学病院 病理診断科

職名 職員 氏名 大城 真里

連絡先電話番号 03-5363-3843

このたび当院では、ご病気で入院された患者さんの手術材料（食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、肺、腎臓、乳腺、子宮、胎盤）・病理組織診断結果を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

研究実施許可日より 2026 年 3 月 31 日までの間に、当院にて診断・治療のために入院し、摘出手術（食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、肺、腎臓、乳腺、子宮、胎盤）を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20211039

研究課題名 病理組織診断標本作製における品質管理法の確立

3 研究実施機関

慶應義塾大学病院 病理診断科

4 本研究の意義、目的、方法

病理組織検査は内視鏡や手術により摘出された組織材料を光学顕微鏡で観察する検査です。組織材料はそのままでは観察できないため、固定、切り出し、脱水、パラフィンブロック化、薄切、染色といった作業工程を経てプレパラート（標本）を作製します。作製された標本のクオリティは診断に影響するため、標本の品質を施設内外問わず一定に保つことは、病理検査において長年課題とされていますが、未だ解決出来ていません。理由としては、施設間の環境の違い、使用している試薬や機械の差、プロトコールの差等様々ありますが、明確な数値化された基準とその調整方法がない事があげられます。

本研究では手術にて切除された組織の診断へ影響しない部分を使用して標本作製を行い、作製時の各工程で最適条件を追求し、数値化した条件の値から適正に管理することができないか検討を行います。

5 協力をお願いする内容

当院において食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、肺、腎臓、乳腺、子宮、胎盤摘出術を受けた患者さんの、手術で採取した組織から診断へ影響しない一部分、及び病理組織診断結果を提供して頂きます。研究での使用時は匿名化を行い、その他の患者さんの情報は一切使用致しません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの手術材料（食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、肺、腎臓、乳腺、子宮、胎盤）・病理組織診断結果は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用致しません。

8 お問い合わせ本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院 臨床検査技術室 病理診断科

住 所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

電 話：03-5363-3843 (直通)

担当者氏名：大城 真里

以上